

2017年12月27日

## 富士ゼロックス多摩（株）「プラチナくるみん」取得に続き、 平成29年度「東京都女性活躍推進大賞」優秀賞を受賞 男女問わず働きやすい職場環境づくりへの取組みで女性活躍を推進

富士ゼロックス多摩株式会社（本社：東京都立川市、社長：小林 直樹）は、2017年12月22日、東京都主催の平成29年度「女性活躍推進大賞」において優秀賞を受賞いたしました。

これは、東京都が女性の活躍推進に向けて先進的な取組を進めている企業・団体および個人を表彰している賞で、当社においては男女問わず働きやすい職場環境づくりに向けて実施してきた各種取組みが評価されました。

### <主な取組内容>

#### ① 時短勤務者が活躍できる役割組織の創設

女性営業職が育休から復職する際、特に乳幼児期の負担が大きい時期について、従来は事務職（内勤）へ転向するケースが一般的でした。2017年4月、モチベーションやスキル維持、キャリア形成の観点から、「フィールドサポートグループ」という顧客満足度向上を担う部署を創設し、自発的・能動的な外勤営業の選択肢を増やしました。

#### ② 地域ネットワークを通じた女性異業種交流会

意識改革やキャリア形成、人脈拡大を目的に、女性異業種交流会を実施しています。2016年からは地元企業や行政を巻き込み「ルックアップたちかわ女性会」を発足し、講演会やワークショップ形式の交流会を開催しています。

#### ③ 所定外労働時間の削減への取組み

経営会議等で休暇取得・残業状況を共有し、テレワークや協働タイム制（フレックス勤務）を促進する社内キャンペーンなどを実施した結果、所定外労働時間を30%削減しました。（2016年上期：16.6h → 2017年上期：11.6h）

富士ゼロックス多摩は、2011年から2年ごとに次世代育成支援対策推進法に基づく行動計画を策定し、「男女を問わず社員が育児に参画しやすい」「社員一人ひとりが働き方の見直しを行い、最大限に個々の能力を発揮できる」職場環境づくりに取り組んできました。その取組みは厚生労働省東京労働局より「子育てサポート企業」として認定を受け、2013年から現在までくるみんマークを3期連続で取得しております。また、2017年8月には、取組みの水準や継続性が認められ、プラチナくるみんマークを取得しました。

今後も引き続き、年齢・性別等に関わらず誰もが自らの意欲と能力により様々な働き方に挑戦できる職場環境づくりを目指すとともに、言行一致の考えに則り、私達自身による働き方変革の実践を通して、お客様にとって最適なソリューションのご提供に努めて参ります。

富士ゼロックス多摩株式会社

FUJIFILM GROUP

〒190-0012 東京都立川市曙町2丁目37番7号コアシティ立川8F・10F 042-524-6011（代）